



Kenji Usui Ballet Collection

ベビー・バレリーナ
～イリーナ・バロノワ～
Baby Ballerina ~ Baronova Irina ~

vol.34

2012/1/11 (Wed.)～2012/2/12 (Sun.)

バレエ・リュスが1929年に解散した後、1931年から活動を開始したバレエ・リュス・ド・モンテカルロはバレエ・リュスとは違う特徴を持っていました。バレエ・リュスが男性スター時代を作ったのに対して、女性ダンサーをより強く打ち出したと言えるでしょう。最初の芸術監督であったジョルジュ・バラシンは3人の10代のダンサーを文字通り「看板娘」としてバレエ界に送りこんだのでした。

◆ イリーナ・バロノワ / Baronova Irina
バレエ・ダンサー、バレエ教師
1919年3月13日生まれ、2008年6月26日死去

バレエ・リュス・ド・モンテカルロから羽ばたいた新たな時代のスター・ダンサー。ロシアのペトログラードに生まれたが、バレエ教育を受けたのは亡命先のパリ以降。パリで学校を開いていたプレオブラジェンスカヤに学んだ。1932年に学校に新しいスターを探しに来たバラシンによって見出され、13歳でバレエ・リュス・ド・モンテカルロの「ベビー・バレリーナ」の3人のうちの一人としてデビュー。(他はタマラ・トゥマノワ、タチアナ・リアブシンスカ)「レ・プレサージュ(予兆)」「子供の遊び」「美しきダンユープ」(1933)などのマシオン作品や「千の接吻」(1935)といったニジンスカ作品に出演。バレエ・シアター(後のアメリカン・バレエ・シアター)にプリマバレリーナとして参加。その一方でデナムのバレエ・リュス・ド・モンテカルロやバジル大佐のオリジナル・バレエ・リュスにも出演した。美しい容姿と可憐で華やかな踊りに多くの人が魅了され、スターとして長く活躍した。ハリウッド映画「フォロリアン」(1939)、メキシコ映画「ヨランダ」(1942)にも出演している。1946年に舞台を引退し、英国に住み、後にオーストラリアに移住。1980年代からバレエ・リュス・ド・モンテカルロの作品の再現振付にも尽力。

ベビー・バレリーナ
～イリーナ・バロノワ～
Baby Ballerina ~ Baronova Irina ~

vol.34

2012/1/11 (Wed.)～2012/2/12 (Sun.)

出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

◆ 「金鶏」を踊るイリーナ・バロノワ、(恐らく「VOGUE」誌)
(薄井憲二氏旧蔵スクラップブック [SB-10-17] / 1930年代)
Irina Baronova in "Le Coq d'or"
Scrap Book of Kenji Usui (Possibly from "VOGUE") / 1930's /
34.2×27.2 (paper size), 32.4×24.6 (image size) (SB-10-17)

◆ 「千の接吻」を踊るイリーナ・バロノワ
(写真 [PH156] / 1930年代)
Photograph of Irina Baronova in "Les Cent Baisers" as a dancer of Coll. W. de Basil's
Ballets Russes / 1930's / 25.9×20.3cm (PH-156)

◆ バレエ・リュス・ド・モンテカルロ 公式プログラム、
第4回目 英国ロイヤル・オペラ・ハウス、コロネーション・シーズン、表紙：クリスチャン・ベラルール
(プログラム [PR-BRMC-OF-27] / 1937年6～10月)
Official Programme of COL.W.de BASIL'S BALLETS RUSSES (de Monte-Carlo)
Coronation Season at Royal Opera House Covent Garden,
1937 June-October, 4TH SEASON / Printed by Burrup, Mathieson & Company,
Ltd. / Cover : Christian Berard / 1937 / 28.5×24.5 cm / 62p (PR-BRMC-OF-27)

次回予告

薄井憲二バレエ・コレクション企画展 Vol.10
バジル大佐のバレエ・リュス・ド・モンテカルロ
～ Fly away, 世界へ～

Colonel de Basil's Ballets Russes ~ fly to the world ~

バロノワがデビューしたバレエ団であるバレエ・リュス・ド・モンテカルロをご紹介します。

バレエ・リュス・ド・モンテカルロは当初の主宰者であったワシリー・ド・バジル大佐とルネ・ブルムが袂を分かち、ダンサーは両方で活躍するなど複雑な歴史を辿ります。今回の企画展ではバジル大佐のバレエ・リュス・ド・モンテカルロに焦点をあててご紹介いたします。

(期間：2012/2/21～2012/3/20 於：2階ポック)

◎ 企画・監修
芳賀直子(はが・なおこ) / 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)